

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

ASK 総選挙 2018



1月31日はゴロ合わせで1・31（あいさい）の日です。

2018年も「あいさいの日」に近い1月第4日曜日（28日）には、愛西市観光協会が主催する「あいさいフェスティバル」が開催されます。

その中で、昨年好評だった愛西市観光名所展：ASK（愛西観光資源）総選挙も実施する予定です。

昨年（2017年）のASK（愛西観光資源）総選挙で上位となった場所は、①木曾川（船頭平閘門、観光船、の

どかな風景）、②佐屋路、③花蓮田、④勝幡城址、⑤道の駅「立田ふれあいの里」、⑥尾張津島天王祭市江車行事の順でした。2017年には、“第1回 出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト”が実施され、コンテストとして市民のカメラ目線を通して愛西市の魅力を再発見できたと思います。そして、応募作品228枚を分析してみると、愛西市の写真被写体対象となった風景は、昨年（2017年）実施したASK（愛西観光資源）総選挙の結果と傾向は一致します。

一方、2016年、大ヒットしたアニメ映画『君の名は』のロケ地を巡る聖地巡礼という日帰り旅が流行していますが、映画『君の名は』では、飛騨市役所（飛騨図書館）が聖地として描かれ、聖地巡礼の対象となりました。天邪鬼的ではありますが、何かの機会があれば、愛西市役所（上写真）も観光資源として大いに期待できると思いますが、いかがでしょうか？

2018年の「あいさいフェスティバル」愛西市観光名所展では、新たに写真などの展示物を見ていただきながら、再度みなさんに簡単な投票をお願いし、ASK（愛西観光資源）の魅力度を調査したいと思います。投票していただいた方には粗品を用意しております。

特に、昨年投票票が少なかった八開地区、佐織地区在住のみなさんの参加を期待します。会場では、あいさいボランティアガイドの会メンバーが、愛西市の観光資源について紹介し、投票者が気軽に立ち寄り、くつろげる雰囲気になるようにしたいと考えておりますので、是非お立ち寄りください。

第4回 あいさいフェスティバル

愛西市観光協会が主催する「あいさいフェスティバル」も4回目となりました。今年（2018年）は28日（日）の開催となります。

今年のメインステージは、オープニングに西保町の伊勢大神楽の公演、式典の後、勝幡さくら園のダンス演技、愛西市オリジナル野菜の歌「届け！野菜の力」での体操、愛妻カラオケ大会、「音物語」によるミニコンサート、愛西市観光協会の観光大使である旭堂鱗林氏の講談などが予定されていて、一日楽しんでいただけます。もちろん、最後には、豪華景品が当たるお楽しみ大抽選会も実施されます。

また、文化会館の館内で、呈茶コーナー、フードコーナー、あいさいさんグッズ・物産販売、愛西市内の3校の高等学校紹介コーナーなどが設置されます。これらの催事だけでなく、表紙で紹介しました愛西市観光名所展：ASK（愛西観光資源）総選挙にも是非お立ち寄りください。



ミズベをサイクリング



12月7日（木）は、快晴の小春日和に恵まれて「道の駅・立田ふれあいの里」を起終点とし立田大橋を渡り、豊かな自然が息づく木曾・長良背割堤、船頭平閘門がある船頭平公園、治水神社などがある木曾三川公園など、木曾三川の堤防上を走行するコースをレンタル・サイクリング（愛西市自転車走行社会実験）で楽しみまし

た。この事業は、国土交通省木曾川下流地区河川事務所が主体となった木曾三川下流広域観光連携協議会が主催したもので、木曾川下流河川事務所、岐阜県海津市、三重県桑名市と木曾岬町、愛知県弥富市と愛西市の各職員、愛西市民を代表してあいさいボランティアガイドの会とその関係者が参加し総勢23名で実施されました。

天候に恵まれたおかげで、ミサゴ（タカの仲間）やカモなど冬鳥が集まる木曾三川の豊かな自然を楽しみ、また、ケレップ水制や湾処、あるいは、船頭平閘門などの施設の意義と歴史を学びました。もっとも、加齢が気になっている私にとっては、約2時間という時間設定はじっくりと自然や施設を見学するには足りず、総計20kmという走行実験は、地図上でイメージした距離よりも長く感じられ、心地良い疲労感を味わうことになりました。参加していただいたみなさんの意見をまとめた結果が、木曾川下流河川事務所と愛西市が進めている川まちづくり計画「ミズベリング事業」へのこれからの足掛かりとなることを期待しています。

☆ あいさい観光おもてなし講座 ☆

今年（2018年）は、明治維新（1868年）から150年という記念すべき年であり、全国的に記念行事が多数行われると予想されます。一方、今年の干支は戊戌（つちのえいぬ・ぼじゅつ）であり、戊（つちのえ）は、植物の成長が絶頂期の意味であり、戌（いぬ）は、元は滅という字で、逆に草木が枯れる状態の意味があります。これらを合わせた戊戌の年とは、燃え尽きた灰の中から、新たに芽生えた価値が成長することを示していると考えられています。平成も来年が最後の年になることが決まり、今年が新しい年号への助走の年にもなります。

今年度は、愛西市観光協会が主催する「あいさい観光おもてなし講座」を2月18日（日）、3月4日（日）の2日間シリーズで開催する予定としております。愛西市の歴史・文化を学び、新しい愛西市を考えるきっかけにしたいと思っておりますのでご参加下さい。講座の詳細内容は別紙・案内チラシなどで紹介したいと思います。

レンコン掘り体験

愛西市観光協会主催で、11月12日（日）、26日（日）の2回、森川花はす田に於いて「レンコン掘り体験」が開催されました。両日共に天候に恵まれ、ご参加いただいた皆様と楽しくレンコン掘りをする事ができました。

参加された皆様全員が大きな蓮根を一生懸命に掘り上げ、袋一杯にお持ち帰りしていただきました。レンコンという愛西市の素晴らしい大地の恵みを改めて実感でき、何より蓮根を採れた時の皆様の最高の笑顔が収穫でした。



タコノアシのカラアゲ

11月に急激な寒波が襲来し、今年の冬は厳冬と予想されています。『あいさい通信 39号（11月）』で、愛西市の木曾川河川敷にタコノアシという植物が生育しており、紅葉が楽しめると紹介しました。

ところが、11月中旬に木曾川へ行ってみると、タコノアシも枯れて、周囲はすっかり冬景色になって、あたかも、タコノアシのカラアゲとなっていました。美味しそうには見えませんが、綺麗な形状のドライフラワーとしてアート材料になります。



～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- 1月 4日(水) 茅ノ輪くぐり(於:町方町松川の姥ヶ森神社、10時頃～)
4～6日 茅ノ輪くぐり(於:津島市の津島神社、4日9時～)
28日(日) **第4回あいさいフェスティバル(於:文化会館)**
- 2月11日(日) 定納のオビシャ(於:二子町定納の白山神社、14時頃～)
勝軍延命地藏堂の餅投げ(於:西條町の勝軍延命地藏堂、16時頃～)
- 18日(日) **あいさい観光おもてなし講座・第1回(於:文化会館)**
- 25日(日) 烏呼神事(於:津島市の津島神社、14時頃～)
- 3月 2日(金) 管粥神事(於:日置町の日置八幡社、7時頃～)
- 4日(日) **あいさい観光おもてなし講座・第2回(会場未定)**
- 11日(日) オコワ祭(於:勝幡町の勝幡神社、9時半頃～)
- 17日(土) 開扉祭(於:津島市の津島神社、19時頃～)
- 18日(日) **あいさい観光おもてなし講座・第3回(会場未定)**

V G 1月定例会の予定

集合時間:1月21日(日)9時～

集合場所:愛西市文化会館

内 容:2017年度の事業について

◇12月定例会(12月17日(日)9時～11時、於:愛西市文化会館、24人出席)議事録

1)今後のあいさいボランティアガイドの活動について

- 「あいさい観光おもてなし講座」の日程と開催内容を協議しました。
- 「あいさいフェスティバル」の日程と開催内容を再確認し、協力する担当者を決めました。
- 研修旅行の行先・日程について連絡しました。

2)今後の予定について

「全国産業観光フォーラム2017&第9回愛知県観光交流サミット」他を案内しました。

3)11・12月の催事報告

愛西市中央図書館歴史文化講座、レンコン掘り体験、愛西市自転車走行社会実験、勝幡地区個別案内など、参加協力・案内実績を報告しました。



= 休刊のお知らせ =

『あいさい通信』は、あいさいボランティアガイドの会ならびに愛西市観光協会として、愛西市の観光資源発掘と愛西市の観光情報を発信することを目的に、ミニ情報紙として、約3年間40号まで発行してきました。しかしながら、編集者の都合で毎月定期発行を継続することが困難となり、今後の発行は未定となります。本紙をご利用いただいていた方々には、この紙面にてお詫び申し上げます、また、深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。